

4階西病棟

診療科

小児科、小児外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、整形外科、耳鼻咽喉科など

病床数

40床

看護師数

看護師長1名、副看護師長3名、看護師23名

主な疾患

血液腫瘍、固形腫瘍、骨肉腫、造血器疾患、凝固異常症、各種原発性免疫不全症、自己免疫疾患、血球貪食症候群、凝固異常、不明熱、先天代謝異常、内分泌疾患、てんかん、膠原病、小児脳腫瘍、小児感覚器疾患、その他先天性疾患、鼠経ヘルニア、尿道下裂、イレウス、白内障、斜視、睫毛内反症、熱傷、アトピー性皮膚炎、先天性奇形

治療・検査

画像検査（レントゲン、CT、MRI、RI）、生検、骨髄検査、髄液検査、ビデオ脳波、脳磁図、筋生検、上下部内視鏡などの精密検査を実施しています。血液腫瘍、脳腫瘍、骨肉腫などの小児がんに対して、外科的治療、化学療法、放射線療法を行います。また、難治性てんかんに対して脳梁離断など外科的治療や内科的治療を行います。様々な診療科の小児を対象とする外科的治療に幅広く対応しています。

新生児期から思春期、AYA世代まで発達段階に合わせて、検査・処置、手術前後、抗がん剤治療や放射線治療中の看護を提供しています。

小児の治療や検査は鎮静下で行うことが多く、安全・安楽に実施できるよう環境を整えケアを実施します。プレイルームや学習室を設置しており、遊びや学習を促し、入院中の生活リズムを整えられるように支援します。

医師、看護師、臨床心理士、CLS、保育士、院内学級教諭など多職種が、患児とその家族の治療生活を支えています。また、退院支援部門（退院支援看護師、MSW）と協働し、復学支援や在宅に向けた退院支援も積極的に行っています。

緩和ケアチームと情報共有し、苦痛を最小限にしてその子らしく過ごすことができるように支援しています。

看護の特徴

